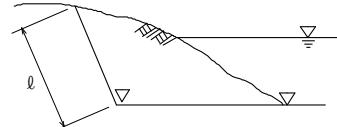
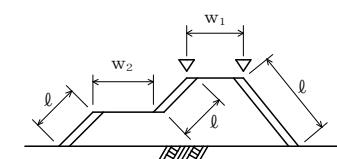
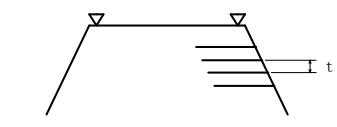


出来形管理基準及び規格値

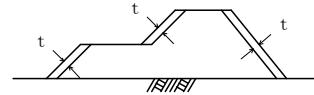
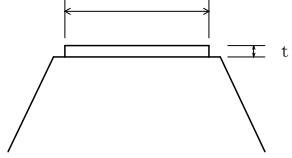
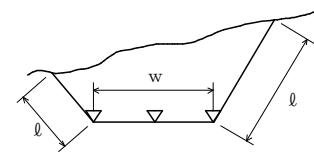
単位 : mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
1 共 通 編	2 土 工	3 河川 ・ 海岸 ・ 砂 防 土 工	2		掘削工	基 準 高 ▽	±50
						法長 $\ell < 5\text{ m}$	-200
						法長 $\ell \geq 5\text{ m}$	法長 - 4 %
1 共 通 編	2 土 工	3 河川 ・ 海岸 ・ 砂 防 土 工	3		盛土工	基 準 高 ▽	-50
						法長 $\ell < 5\text{ m}$	-100
						法長 $\ell \geq 5\text{ m}$	法長 - 2 %
						幅 w_1, w_2	-100
1 共 通 編	2 土 工	3 河川 ・ 海岸 ・ 砂 防 土 工	4		盛土補強工 (補強土(テールアル メ)壁工法) (多数アンカー式補強 土工法) (ジオテキスタイルを 用いた補強土工法)	基 準 高 ▽	-50
						厚さ t	-50
						控え長さ	設計値以上

測定基準	測定箇所	摘要
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は掘削部の両端で測定。		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は各法肩で測定。		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		

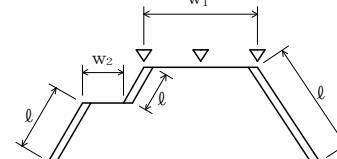
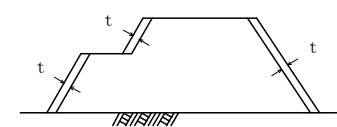
単位 : mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
1 共 通 編	2 土 工	3 河川 ・ 海岸 ・ 砂 防 土 工	5		法面整形工(盛土部)	厚さ t	※-30
1 共 通 編	2 土 工	3 河川 ・ 海岸 ・ 砂 防 土 工	6		堤防天端工	厚さ t	t < 15cm t ≥ 15cm
1 共 通 編	2 土 工	4 道 路 土 工	2		掘削工	幅 w	-25 -50 -100

測定基準	測定箇所	摘要
施工延長 40m(測点間隔 25m の場合は 50m)につき 1 箇所、延長 40m(又は 50m)以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所、法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		
幅は、施工延長 40m(測点間隔 25m の場合は 50m)につき 1 箇所、延長 40m(又は 50m)以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さは、施工延長 200m につき 1 箇所、200m 以下は 2 箇所、中央で測定。		
施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。		

単位 : mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
1 共 通 編	2 土 工	4 道 路 土 工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	基 準 高 ▽	±50
						法長 $\ell < 5\text{ m}$	-100
						法長 $\ell \geq 5\text{ m}$	法長 - 2 %
						幅 w_1, w_2	-100
1 共 通 編	2 土 工	4 道 路 土 工	5		法面整形工(盛土部)	厚さ t	※-30
1 共 通 編	3 無 筋 、 鉄 筋 コン クリ ート	7 鉄 筋 工	4		組立て	平均間隔 d	± ϕ
						かぶり t	土 ϕ かつ 最小かぶり 以上

測定基準	測定箇所	摘要
施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。		
施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		
$d = \frac{D}{n-1}$ <p>D : n 本間の延長 n : 10 本程度とする ϕ : 鉄筋径</p> <p>工事の規模に応じて、1 リフト、1 ロット当たりに対して各面で 1 箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書(構造性能照査編 9.2)参照</p> <p>注 1) 重要構造物 かつ主鉄筋について適用する。</p> <p>注 2) 橋梁コンクリート床版桁(P C 橋含む)の鉄筋については、第3編3-4-12 床版・横組工を適用する。</p> <p>注 3) 新設のコンクリート構造物(橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積 25 m²以上のボックスカルバート(工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外))の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領(案)」を適用する。</p>	